

「障害のある人の生活と福祉に関する調査」中間集計【速報】

調査の実施概要

調査対象者：身体障害手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者の中から無作為抽出

調査方法：郵送配布・回収、無記名方式

調査時期：平成26年7月25日～8月8日

調査票の配布、回収の状況

配布件数：6,664件 回収件数：2,615件 回収率：39.2%

回答者の状況

●性別

男性	女性
51.6%	47.7%

●手帳の取得状況（複数計上あり）

身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳
1,565人	619人	789人

●年齢構成（%）

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上
3.1	5.1	7.8	10.9	11.5	11.3	17.1	17.0	12.5	2.5	0.1

主な調査結果（各質問とも回答の上位3つ 無回答を除いた割合）

【暮らす】

●どこで生活しているか

持家：77.7% 民間の賃貸住宅・借家：8.6% 社会福祉施設：3.9%

●将来どのように暮らしたいか

家族と一緒に暮らしたい：53.0% わからない：23.4%

ひとりで暮らしたい：11.6%

●入所型の施設や医療機関以外で暮らすために必要なこと（入所・入院中の方のみ回答）

困ったときに相談できる人がいる：35.8%

休日・夜間・緊急時に受信できる医療機関が身近にある：32.8%

日常生活ができるための訓練をすること：26.4%

●障害福祉サービスを利用していない、利用回数が減った理由

受ける必要がない：61.3% 手順の仕方が分からない、面倒：11.4%

家の近くに利用したいサービスがない：9.4%

●今後充実してほしい情報

困ったときに相談できる機関・場所：49.7%

福祉サービスの具体的内容や利用方法：42.1%

特にない・わからない：19.8%

●最近誰かに相談したいと思ったこと

将来の生活のこと：37.2% 健康のこと：32.3% 特にない：28.2%

【働く】

- どのような形で仕事をしているか（通園・通学をしていない方のみ回答）
仕事をしていない：44.1% 就労支援事業所等：16.1% 非正規職員：14.3%
- 仕事をしていない主な理由
高齢のため：32.1% 病気のため：23.9% 重度の障害のため：16.0%
- 今の仕事や職場環境に満足しているか（仕事をしている方のみ回答）
満足・やや満足：41.4% ぶつう：27.5% やや不満・不満：31.2%
- 上の問いで「やや不満・不満」の理由
収入が少ない：68.3% 障害に対する理解が少ない：39.0%
悩みを相談できる人がいない：29.3%
- 障害のある人が働きやすくなるために必要なことは
障害者を雇い入れる企業や事業所が増えること：40.6%
職場の人たちが障害や障害のある人を理解していること：40.3%
仕事の内容や量が障害のある人に合っていること：34.4%

【活動する】

- 日常的な外出（買い物、食事、散歩等）のために出かける回数
週に1~2回：29.9% 週に3~4回：17.6% ほぼ毎日：16.1%
- 余暇活動、趣味活動等のために出かける回数
ほとんど出かけない：31.5% 月に1~3回：23.3% 週に1~2回：21.8%
- 「最近1年間で休みの日や余暇の時間にどのようなことをしていたか、今後してみたいか」という問いに対して、すべて「いいえ」と回答した方の理由
外出が困難、移動が困難：34.9% 活動に参加できる健康状態にない：34.4%
経済的ゆとりがない：24.4%

【共生のまちづくり】

- 障害があることで他の人に比べてひどい扱いをされたと感じたことやいやな思いをしたこと
特にない：48.9% 陰口を言われたり、からかわれたりした：23.5%
障害があることをわかってもらえなかった：22.0%
- 災害時の避難に支援が必要か
必要：58.4% 必要ない：41.6%
- 災害時に困ると思われること
避難所生活をするには心や体が耐えられるか不安：46.0%
安全なところまですぐに避難するのが難しい：40.7%
どのような災害が起こったのかすぐにはわからない：32.4%
- 今後、行政に取り組んでほしいこと
安心して外出し、活動できる誰もが住みよいまちづくりの推進：33.2%
訪問看護や往診といった在宅医療が受けやすい体制の充実：26.1%
障害や障害のある人に対する理解を深めるための啓発や広報：26.1%
地域の中で暮らすためのグループホーム等の住む場所の確保・充実：22.9%